TADOKU JUNIOR　西風かあさんのおはなし（バージェス）　★★★☆☆ ふつう　880語

Johnny Chuck Finds the Best Thing in the World

ウッドチャックのジョニー、世界でいちばんいいものを見つける

Thornton W. Burgess（1910年の本）　原文そのまま　朗読：Laurie Anne Walden

人の声の朗読を聞く・Web版

どんなおはなし？　「世界でいちばんいいものを見たわ」と西風かあさん。動物たちはそれぞれ、自分のすきな食べものを思いうかべて、野原へかけだしますが……。



Old Mother West Wind had stopped to talk with the Slender Fir Tree. “I've just come across the Green Meadows,” said Old Mother West Wind, “and there I saw the Best Thing in the World.”

Striped Chipmunk was sitting under the Slender Fir Tree and he couldn't help hearing what Old Mother West Wind said. “The Best Thing in the World—now what can that be?” thought Striped Chipmunk. “Why, it must be heaps and heaps of nuts and acorns! I'll go and find it.”

So Striped Chipmunk started down the Lone Little Path through the wood as fast as he could run. Pretty soon he met Peter Rabbit.

“Where are you going in such a hurry, Striped Chipmunk?” asked Peter Rabbit.

“Down in the Green Meadows to find the Best Thing in the World,” replied Striped Chipmunk, and ran faster.

“The Best Thing in the World,” said Peter Rabbit. “Why, that must be great piles of carrots and cabbage! I think I'll go and find it.”

So Peter Rabbit started down the Lone Little Path through the wood as fast as he could go after Striped Chipmunk.

As they passed the great hollow tree Bobby Coon put his head out. “Where are you going in such a hurry?” asked Bobby Coon.

“Down in the Green Meadows to find the Best Thing in the World!” shouted Striped Chipmunk and Peter Rabbit, and both began to run faster.

“The Best Thing in the World,” said Bobby Coon to himself. “Why, that must be a whole field of sweet milky corn. I think I'll go and find it.”

So Bobby Coon climbed down out of the great hollow tree and started down the Lone Little Path through the wood as fast as he could go after Striped Chipmunk and Peter Rabbit, for there is nothing that Bobby Coon likes to eat so well as sweet milky corn.

At the edge of the wood they met Jimmy Skunk.

“Where are you going in such a hurry?” asked Jimmy Skunk.

“Down in the Green Meadows to find the Best Thing in the World!” shouted Striped Chipmunk and Peter Rabbit and Bobby Coon. Then they all tried to run faster.

“The Best Thing in the World,” said Jimmy Skunk. “Why, that must be packs and packs of beetles!” And for once in his life Jimmy Skunk began to hurry down the Lone Little Path after Striped Chipmunk and Peter Rabbit and Bobby Coon.

They were all running so fast that they didn't see Reddy Fox until he jumped out of the long grass and asked: “Where are you going in such a hurry?”

“To find the Best Thing in the World!” shouted Striped Chipmunk and Peter Rabbit and Bobby Coon and Jimmy Skunk, and each did his best to run faster.

“The Best Thing in the World,” said Reddy Fox to himself. “Why, that must be a whole pen full of tender young chickens, and I must have them.”

So away went Reddy Fox as fast as he could run down the Lone Little Path after Striped Chipmunk, Peter Rabbit, Bobby Coon and Jimmy Skunk.

By and by they all came to the house of Johnny Chuck.

“Where are you going in such a hurry?” asked Johnny Chuck.

“To find the Best Thing in the World,” shouted Striped Chipmunk and Peter Rabbit and Bobby Coon and Jimmy Skunk and Reddy Fox.

“The Best Thing in the World,” said Johnny Chuck. “Why, I don't know of anything better than my own little home and the warm sunshine and the beautiful blue sky.”

So Johnny Chuck stayed at home and played all day among the flowers with the Merry Little Breezes of Old Mother West Wind and was as happy as could be.

But all day long Striped Chipmunk and Peter Rabbit and Bobby Coon and Jimmy Skunk and Reddy Fox ran this way and ran that way over the Green Meadows trying to find the Best Thing in the World. The sun was very, very warm and they ran so far and they ran so fast that they were very, very hot and tired, and still they hadn't found the Best Thing in the World.

When the long day was over they started up the Lone Little Path past Johnny Chuck's house to their own homes. They didn't hurry now for they were so very, very tired! And they were cross—oh so cross! Striped Chipmunk hadn't found a single nut. Peter Rabbit hadn't found so much as the leaf of a cabbage. Bobby

Coon hadn't found the tiniest bit of sweet milky corn. Jimmy Skunk hadn't seen a single beetle. Reddy Fox hadn't heard so much as the peep of a chicken. And all were as hungry as hungry could be.

Half way up the Lone Little Path they met Old Mother West Wind going to her home behind the hill. “Did you find the Best Thing in the World?” asked Old Mother West Wind.

“NO!” shouted Striped Chipmunk and Peter Rabbit and Bobby Coon and Jimmy Skunk and Reddy Fox all together.

“Johnny Chuck has it,” said Old Mother West Wind. “It is being happy with the things you have and not wanting things which some one else has. And it is called Con-tent-ment.”

西風かあさんは立ちどまって、ほっそりしたモミの木とおしゃべりをしていました。「いま、みどりの野原をわたってきたところなんだけど」と西風かあさんは言いました。「そこで、世界でいちばんいいものを見たのよ」

シマリスは、ほっそりしたモミの木の下にすわっていたので、西風かあさんの言ったことが、いやでも耳に入ってしまいました。「世界でいちばんいいもの――いったいなんだろう？」とシマリスは思いました。「そうだ、きっと、山のように、山のようにつみあげた木の実やどんぐりにちがいない！さがしに行こう」

そこでシマリスは、森の中のひとりぼっちの小道を、力いっぱいかけおりていきました。まもなく、ウサギのピーターに会いました。

「そんなにいそいでどこへ行くの、シマリスくん？」とピーターはききました。

「みどりの野原へ、世界でいちばんいいものをさがしに行くんだ」とシマリスはこたえて、もっと速く走りました。

「世界でいちばんいいもの、だって」とピーターは言いました。「そりゃあきっと、山もりのニンジンとキャベツにちがいない！ぼくもさがしに行こうっと」

そこでピーターも、シマリスのあとを追って、森の中のひとりぼっちの小道を力いっぱいかけおりていきました。

ふたりが中がからっぽの大きな木のそばを通ると、アライグマのボビーが頭を出しました。「そんなにいそいで、どこへ行くんだい？」とボビーはききました。

「みどりの野原へ、世界でいちばんいいものをさがしに行くんだ！」とシマリスとピーターはさけんで、ふたりともっと速く走りだしました。

「世界でいちばんいいもの、か」とボビーはひとりごとを言いました。「そりゃあきっと、あまくてみずみずしいトウモロコシの畑まるごとだ。ぼくもさがしに行こう」

そこでボビーは中がからっぽの大きな木からおりてきて、シマリスとピーターのあとを追って、森の中のひとりぼっちの小道を力いっぱいかけおりていきました。ボビーにとって、あまくてみずみずしいトウモロコシほどすきな食べものはないのです。

森のはずれで、みんなはスカンクのジミーに会いました。

「そんなにいそいで、どこへ行くんだい？」とジミーはききました。

「みどりの野原へ、世界でいちばんいいものをさがしに行くんだ！」とシマリスとピーターとボビーはさけびました。それから、みんなもっと速く走ろうとしました。

「世界でいちばんいいもの、か」とジミーは言いました。「そりゃあきっと、カブトムシがどっさり、どっさりいるところだ！」そして、このときばかりは、ジミーもシマリスとピーターとボビーのあとを追って、ひとりぼっちの小道をいそいでおりはじめました。

みんなあんまり速く走っていたので、長い草の中からキツネのレディがとび出してきて「そんなにいそいで、どこへ行くんだい？」とたずねるまで、レディに気がつきませんでした。

「世界でいちばんいいものをさがしに行くんだ！」とシマリスとピーターとボビーとジミーはさけんで、みんなせいいっぱい速く走ろうとしました。

「世界でいちばんいいもの、か」とレディはひとりごとを言いました。「そりゃあきっと、やわらかいわかいニワトリがいっぱいのとり小屋だ。ぜったいに手に入れてやるぞ」

そこでレディも、シマリス、ピーター、ボビー、ジミーのあとを追って、ひとりぼっちの小道を力いっぱいかけおりていきました。

しばらくして、みんなはウッドチャックのジョニーの家まで来ました。

「そんなにいそいで、どこへ行くの？」とジョニーはききました。

「世界でいちばんいいものをさがしに行くんだ」とシマリスとピーターとボビーとジミーとレディはさけびました。

「世界でいちばんいいもの、か」とジョニーは言いました。「だって、ぼくの小さなおうちと、あたたかいお日さまの光と、きれいな青い空より、いいものなんて知らないなあ」

そこでジョニーは家にいて、一日じゅう西風かあさんの陽気なそよ風たちと花の中で遊び、このうえなくしあわせにすごしました。

でも、シマリスとピーターとボビーとジミーとレディは、一日じゅう、みどりの野原をあっちへ走り、こっちへ走りして、世界でいちばんいいものをさがしました。お日さまはとてもとてもあたたかく、みんなはとても遠くまで、とても速く走ったので、とてもとても暑くて、つかれてしまいました。それでも、世界でいちばんいいものは見つかりませんでした。

長い一日がおわると、みんなはジョニーの家の前を通って、ひとりぼっちの小道をそれぞれの家へ帰りはじめました。こんどはもういそぎませんでした。とてもとてもつかれていたのです！それに、きげんもわるかったのです――ああ、とってもきげんがわるかったのです！シマリスは、木の実をひとつも見つけられませんでした。ピーターは、キャベツの葉っぱ1まいさえ見つけられませんでした。ボビーは、あまくてみずみずしいトウモロコシを、ほんのひとかけらも見つけられませんでした。ジミーは、カブトムシを1ぴきも見かけませんでした。レディは、ヒヨコのピヨという声さえ聞きませんでした。そして、みんなこれいじょうないほど、おなかがぺこぺこでした。

ひとりぼっちの小道をとちゅうまでのぼったところで、みんなは、おかのむこうのおうちへ帰る西風かあさんに会いました。「世界でいちばんいいもの、見つかった？」と西風かあさんはききました。

「見つからなかった！」とシマリスとピーターとボビーとジミーとレディは、声をそろえてさけびました。

「ジョニーがもっているわよ」と西風かあさんは言いました。「それはね、自分がもっているものでしあわせでいて、だれかほかの人がもっているものをほしがらないこと。それを『ま・ん・ぞ・く』というのよ」

たんご と クイズ　ウッドチャックのジョニー、世界でいちばんいいものを見つける

nuts 木の実	**acorns** どんぐり	**carrots** ニンジン
cabbage キャベツ	**corn** トウモロコシ	**beetles** カブトムシなどの虫
chickens ニワトリ	**sky** 空	

Q1 ピーターは「世界でいちばんいいもの」をなんだと思った？

① 木の実とどんぐり　② カブトムシ　③ 山もりのニンジンとキャベツ

Q2 ジョニーが「いちばんいい」と思っていたものは？

① あまいトウモロコシ　② 自分の家とお日さまの光と青い空　③ わかいニワトリ

Q3 西風かあさんの言う「世界でいちばんいいもの」とは？

① 自分のもっているものでしあわせでいること　② たくさんの食べもの　③ 遠くまで走れる足

こたえ

Q1　③　ピーターは、山もりのニンジンとキャベツにちがいないと思って、シマリスのあとを追いかけていきました。

Q2　②　ジョニーは、自分の小さなおうちと、あたたかいお日さまの光と、青い空より、いいものは知らないと言いました。

Q3　①　自分のもっているものでしあわせでいて、人のものをほしがらないこと。それを「まんぞく」とよぶのです。

原田英語の多読ベストジュニア

本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。

haradaeigo.com/tadokubestjr/

出典　英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #2557（Thornton W. Burgess、1910年）。パブリックドメイン。
挿絵：この本には挿絵がないため、場面をイメージして AI（Codex）で描いた絵です。
朗読（Web版）：Laurie Anne Walden（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）
和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは 3 重チェック。人の目でも順次確認しています。